

◆令和7年度研究賞受賞者◆

【荻村孝特別研究賞】

石川 裕一（名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学 講師）
急性骨髄性白血病における治療耐性化メカニズムの解明とその克服を目指す新規治療法の開発

【高久史磨賞】

鍋倉 幸（愛知県がんセンター分野長）
免疫調節薬によるナチュラルキラー細胞の抗がん活性増強の分子機序解明とその応用

【清水保信賞】

神谷 尚宏（東京科学大学発生発達病態学分野（小児科）講師）
Fratricide-resistant CD7-CAR T 細胞療法の国内における臨床応用へ向けた研究

【クレディセゾン賞】

嶋 晴子（慶應義塾大学医学部小児科共同研究員）
分子遺伝学的寛解を達成した小児慢性期慢性骨髄性白血病に対するチロシンキナーゼ阻害剤減量中止試験

【ティーエスアルフレッサ賞】

森嶋 達也（熊本大学 国際先端医学研究機構特任講師、若楠研究者（Jr.PI））
ミトコンドリアtRNA修飾酵素ノックアウトマウスを用いて、同修飾異常による骨髄異形成症候群発症機序の解明を目指した研究

【井手幸子賞】

綿貫 慎太郎（東北大学大学院 医学系研究科幹細胞医学分野助教）
単一細胞リアルタイム代謝解析法を活用した造血器腫瘍の代謝制御解明および副作用を軽減した新規治療法の開発

【臨床医学特別賞】（順不同）

藤田 進也（国立健康危機管理研究機構国立国際医療研究所造血システム研究部 日本学術振興会特別研究員 PD・客員研究員）
骨髄侵害受容神経によるPiezo1機械受容を介した造血幹細胞ホーミング制御機構の解明と生着向上技術の開発

辻本 信一（横浜市立大学 医学部医科学研究科発生成育小児医療学講座医学部講師）
再発難治急性骨髄性白血病に対する代 L- asparaginaseの代謝特性を標的とした新規治療戦略の開発

【一般研究賞】（順不同）

岡本 裕介（京都大学医学部附属病院血液内科特定病院助教）
ERCC6L2及びLIG4症候群モデルiPS細胞を用いた新規治療法の開発

黒田 純也（京都府立医科大学大学院医学研究科 血液内科学 教授）
血液がんにおいて腫瘍免疫監視機構破綻を誘導する腫瘍細胞、造血細胞、身体環境の特性と機能連関の解明による新規免疫学的治療戦略の開発

秋山 弘樹（東京科学大学病院血液内科特任助教）
造血幹細胞および白血病幹細胞における脂肪滴代謝制御機構の解明とその抗白血病治療標的としての可能性の探求

菊池 次郎（自治医科大学分子病態治療研究センター 領域融合治療研究部 准教授）
1q増幅を有する多発性骨髄腫における転写因子FOXO1の機能解明と臨床応用

須摩 桜子（筑波大学附属病院病院助教）
「節性T濾胞ヘルパー細胞リンパ腫（TFHリンパ腫）」における節外ニッチの分子基盤の解明とニッチを標的とした革新的な治療法の開発

後藤 公寿（名古屋市立大学大学院医学系研究科ウイルス学分野大学院生（博士課程））
慢性活動性 Epstein-Barr ウイルス（EBV）病における遺伝的素因の解析

土師 正二郎(九州大学大学院医学研究院病態制御内科学分野助教)
多発性骨髄腫の予後不良因子である髄外病変の形成機構と治療標的の解明

藪下 知宏(熊本大学 国際先端医学研究機構特別研究員(日本学術振興会特別研究員PD))
頭蓋遮蔽処置による移植後GVHD制御機構の解明

【毎日賞】

日本小児がん研究グループ リンパ腫委員会深野 玲司
(産業医科大学小児科学講座教授)

ALK 陽性未分化大細胞リンパ腫の層別化治療の開発に結びつく予後因子解明を目的とした多機関共同試験

【小林登賞】

日本小児がん研究グループ ALL委員会大嶋 宏一
(埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科医長)

小児・AYA(Adolescent and Young adult)世代の再発・難治性T細胞性急性リンパ性白血病、T細胞性リンパ芽球性リンパ腫に対するイサツキシマブの有効性と安全性の検討